

- ▶ 公有地及び公共性を有する林道に係る危険木等の伐採と剪定により、安全対策を推進する。
- ▶ 交野市立交野みらい学園 施設一体型小中一貫校建設にあたり木材利用を推進する。

□ 事業内容

1. 公有林整備

- ・ 寺地区危険木伐採 2本
【事業費】 90.2千円（うち譲与税90.2千円）
- ・ 森地区危険木伐採 10本
【事業費】 447.7千円（うち譲与税447.7千円）
- ・ 妙見東地区危険木伐採 15本
【事業費】 550千円（うち譲与税550千円）

2. 公共施設等の木材利用

- ・ 交野みらい学園整備事業 1,189,828.9千円の一部
(うち譲与税8,000.1千円)
- ・ 令和7年4月開校予定の施設一体型小中一貫校への木材の利用

□ 工夫・留意した点

- ・ 危険木の所在地（所有者）の特定は、市域面積の約4割を山地で占める本市において、安易で無く、地元区等の方々への聞き取りや法務局での調査を行い慎重に確認を行っている。



(寺地区)



(森地区)

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額	9,088千円
②私有林人工林面積（※1）	210.78ha
③林野率（※2）	37.6%
④人口（※3）	75,033人
⑤林業就業者数（※3）	3人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
 ※2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より